



2025 年 11 月 17 日

各 位

会 社 名 ワイエイシイホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 百瀬 武文
(コード番号 6298 東証プライム)
問合せ先 経営戦略本部経営推進部 村澤 賢雄
(TEL. 042-546-1161)

ワイエイシイバイオ株式会社と産業技術総合研究所による共同研究契約のお知らせ

当社子会社のワイエイシイバイオ株式会社は、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下「産総研」）と、ノロウイルス検知装置の開発に関する共同研究契約を締結いたしました。

共同研究契約に至った背景とその目的は以下の通りです。

当社グループは、本共同研究を通じて、より安全な社会の実現に貢献してまいります。

1. 共同研究の背景と期待

ノロウイルスは、わずか10～100粒子という微量でも感染が成立する非常に感染力の強いウイルスです。毎年、冬季を中心に介護施設や医療機関、食品関連施設などで集団感染が発生しています。

現在主流の検査方法は「リアルタイムPCR法（リアルタイムポリメラーゼ連鎖反応）」です。信頼性は高いものの、専門設備や高度な操作が必要で、検査機関での実施が前提となるため、結果が出るまで時間がかかるという課題があります。

そこで注目されているのが、産総研が開発した『「多粒子格納型デジタルイムノアッセイ（MCDIA）」を用いた検出法（※注1）』です。この方法はリアルタイムPCR法に匹敵する高感度を持ちながら、検査結果をわずか数十分で取得可能で、さらに、専用設備や高度な操作を必要としないという特長があります。これにより、介護施設や医療機関、食品関連施設などでも迅速な検査が可能となり、感染防止や拡大防止に大きな効果が期待されています。

2. 契約締結の目的

多粒子格納型デジタルイムノアッセイを用いたノロウイルス検知装置の販売に向けた共同開発および検知装置の製造・販売

※注1）産総研の論文出典

- [1] Ashiba H., Yasuura M., Fukuda T., Hatano K., Fujimaki M. (2022). Quick and ultra-sensitive digital assay of influenza virus using sub-picoliter microwells. *Analytica Chimica Acta*, 1213, 339926.
- [2] Yasuura M., Tan Z. L., Horiguchi Y., Ashiba H., Fukuda T. (2023). Improvement of sensitivity and speed of virus sensing technologies using nm- and μ m-scale components. *Sensors*, 23, 6830.

以 上

技術情報等に関するお問合せ先
ワイエイシイバイオ株式会社
最高技術顧問 吉田 俊治
電話：042-546-1163
Mail: syoshida@yac.co.jp

その他のお問合せ先
ワイエイシイホールディングス株式会社
経営推進部 村澤 賢雄
電話：042-546-1161
Mail: tmurasawa@yac.co.jp